

社 報



ノーベル賞

サポートピン

市場で出回っている、サポートピンには一部の品物に不良品が存在することが判明しました。

そこで、当社では独自にサポートピンを開発しました。海外にて生産を行ない、今回、5万本を輸入しました。今月より販売を始めます。

サポートピン NH45



--- 規格 ---

機械用炭素鋼材 S45C 相当品

含有炭素量C%=0.48%

鋼材直径 12.0mm

--- 特徴 ---

ピンに取付用の穴がありません。

過挿入はあり得ません。

話題としては、少し遅い感じもありますが、先月、ノーベル賞の発表があり、日本人のお二人が受賞されました。

スウェーデン王立科学アカデミーは10月6日、2010年のノーベル化学賞を根岸英一・米パデュー大学特別教授と鈴木章・北海道大学名誉教授ら3氏に授与すると発表した。高血圧高血圧症の治療薬や液晶材料など多様な工業物質の製造に必須の合成法を開発したことを評価した。授賞理由は「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」。医薬品や電子材料など様々な工業物質を効率よく合成する革新的な手法である「クロスカップリング反応」を開発した。

テレビで両博士のインタビューが放映されていましたが、どちらの博士であったか、印象に残る話をされていきました。

『触媒の発見は実験に次ぐ実験の結果で、世に評価される触媒を発見できたのは、まさに偶然でありました。ラッキーであったと言うしかありません

が、これは単なるラッキーではありません。発見は偶然ではありましたが、私たちはそれがあると確信し探す努力を続けたということです。探し求めたからこそ、偶然の発見があったわけです。

私自身のノーベル賞はありがたいことではありますが、受賞が決まってから、未来を背負うべき若者に対して、意見を求められることが多いのですが、現代の若者に対しては、業績でも何でも、人から与えられるのではなく、自らが欲してそれを得ようとしないう限りは手に入らない、そのためには、信念を持ち、努力を怠らないことが大切だと思います。』

このような意味のことであったと思いますが、素晴らしい内容でありました。

私達は建築という分野で、そこでの発見を目指しているわけではありません。しかし、自ら求めて、信念を持ち、努力を続けるという点には、何の異論もありません。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

基本とは何か

前にも、基本について書いたことがあります。基本は何事でも大事で、野球やサッカーなどのスポーツではプロの選手になっても、繰り返し・繰り返し基本練習を行ないません。

仕事でも基本が大事であることは、言うまでもありません。それはみんなが分っているのですが、基本を繰り返し練習するという行動は

見受けられません。どころか、基本が何かが定められていないのです。

基本を守るということは、ビジネスの世界ではそれぞれの判断に任せている部分が多いように思います。

現場の仕事でも、基本を自分の中で確立すること、それを忠実に実行することが、安全そのものです。

2010年 安全成績

■ 現場災害 H22.1.1-H22.11.22	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■ 交通災害 H22.1.1-H22.11.22	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 2
合計	----- 2